

## 肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する意見書

肺炎は主要死因の4位に位置し、また、高齢になるほど肺炎での死亡率が増加する傾向がみられる。肺炎の要因となるインフルエンザウイルスや肺炎球菌は、呼吸器感染症における代表的病原体で、肺炎のみならず敗血症や骨髄炎といった致死率の高い合併症をも引き起こす。しかし、この両者はワクチンによる予防が可能な病原体でもある。

特に高齢者はインフルエンザや肺炎に罹患するリスクが高く、インフルエンザ罹患後の肺炎の要因に肺炎球菌が関与している可能性が高いとされている。実際、インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンを併用して接種することにより、高い有用性が報告されている。また、ペニシリン耐性肺炎球菌等の薬剤耐性化が進んでおり、ワクチンによる予防が重要視されている。

近年欧米では、肺炎の予防として両ワクチンの接種が強く奨励され、特に罹患率の高い高齢者に対する接種率を高めようとする取り組みが国家レベルで行われており、日本のワクチン行政の遅れが指摘されている。

肺炎球菌ワクチン接種率の向上には、高齢者への公費助成制度等、社会的援助体制が欠かせない。インフルエンザワクチンは平成13年より公費助成がなされている。これに肺炎球菌ワクチンを併用することにより、高齢者の肺炎による死亡、入院をさらに減少させることができ、医療費の削減にもつながるものと考えられる。

ついては、高齢者が健康で生き生きと暮らせるよう、肺炎球菌ワクチンの接種率向上のため、下記の事項について要望する。

### 記

1. 肺炎球菌ワクチン接種を予防接種法の「定期接種」に位置づけ、公費助成を実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年12月22日

福島県伊達市議会議員 吉田 一 政

内閣総理大臣	菅	直人	様
厚生労働大臣	細川	律夫	様
総務大臣	片山	善博	様
財務大臣	野田	佳彦	様
衆議院議長	横路	孝弘	様
参議院議長	西岡	武夫	様
福島県知事	佐藤	雄平	様